

# 風水害対策

## 大雨情報をキャッチ!

こんなときの  
わが家の安全対策

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。普段から気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

### 大雨特別警報

大雨により重大な災害の起こるおそれ著しく大きいと予想される場合に発表する警報

### 気象防災速報 (記録的短時間大雨)

大雨警報が発表されているときに、数年に1回程度発生する激しい短時間の大雨を観測、または解析したことを発表する情報

### 大雨警報

大雨により重大な災害の起こるおそれがあると予想される場合に発表する警報

### 気象防災速報 (線状降水帯発生)

大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で実際に降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報

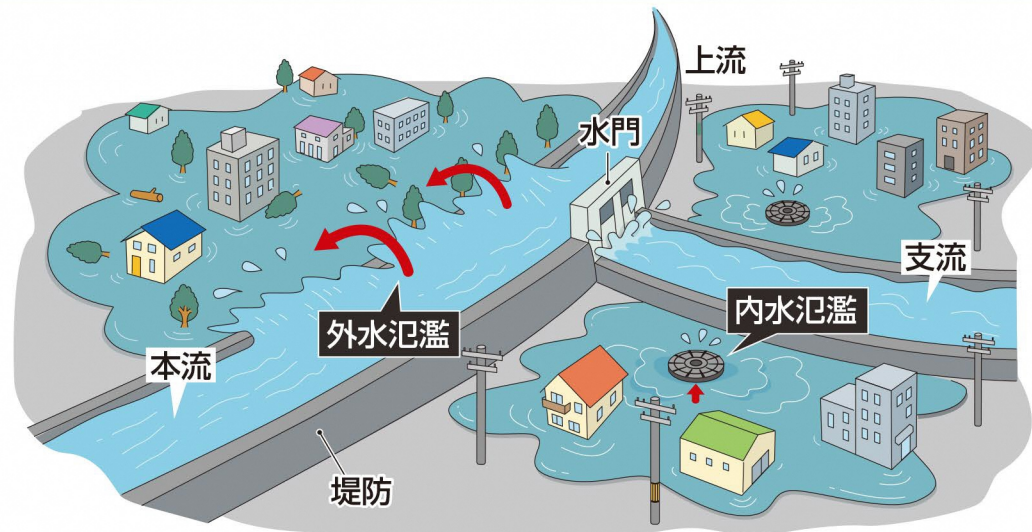
### 大雨注意報

大雨により災害が起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報

## 氾濫の種類

### 外水氾濫

河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤するなどして堤防から水があふれ出す。



### 内水氾濫

下水道・支川等の雨水排水能力を上回り浸水する。あるいは河川水位の上昇により、下水道・支川等から河川へ放流できず浸水する。

## 雨の強さと降り方 [雨量の単位は1時間に降る雨量(mm)]

防災気象情報の中で「激しい雨」「非常に強い風」などと表現される雨や風は実際どのような降り方、吹き方をするのでしょうか。雨・風の強さに応じた人や建物などへの影響のしかたを示した表によって、雨や風の強さを数値だけでなく具体的なイメージで防災気象情報をより身近なものにしましょう。

10~20mm未満 やや強い雨	20~30mm未満 強い雨	30~50mm未満 激しい雨	50~80mm未満 非常に激しい雨	80mm以上 猛烈な雨
ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる

## 風の強さと吹き方 [風速の単位m/sは、1秒間に進む距離(m)]

10~15m/s未満 やや強い風	15~20m/s未満 強い風	20~30m/s未満 非常に強い風	30m/s以上 猛烈な風
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険	何かにつかまっていけないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある	屋外での行動はきわめて危険

# 土砂災害対策

土砂災害を発生させる現象には、主に「土石流」「地滑り」「崖崩れ」の3つの種類があり、これらが発生するときには、何らかの前兆現象が現れることがあります。下に挙げたものは主な前兆現象です。こうした前兆現象に気づいたら、周囲の人に声をかけあい、いち早く安全な場所に避難することが大切です。

## 土砂災害の種類と前兆現象

### 土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象。時速 20 ~ 40km という速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまうことも。



- 川や沢の中でゴロゴロという石がぶつかり合う音がしたり、火花が見えたりする
- 川や沢の流れがにごり、生の木が流れてくる
- 山鳴りがする、腐った土のおいがする。立木が裂ける音がする
- 雨がふり続けているのに川や沢の水が減る

### 地滑り

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。移動土壌量が大きいため甚大な被害が発生。



- 池の水がにごったり、減ったりする
- 山の樹木がザワザワとさわぐ。木の裂ける音や木の根が切れる音がする
- 地鳴りや山鳴りがする
- 崖や斜面から水が噴き出す
- 地面にひびわれや段差ができる

### 崖崩れ

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる現象。崩れ落ちるまでの時間がごく短いため、人家の近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪うことが多い。



- 崖から小石がパラパラ落ちてくる
- 地鳴りがする
- 崖から水がわき出る
- 崖にひびわれができる

## 土砂災害警戒区域について

土砂災害防止法に基づき、都道府県は調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域を以下の通り指定しています。

<b>土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)</b>	建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域
<b>土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)</b>	住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域